

川崎南部病院

Time's

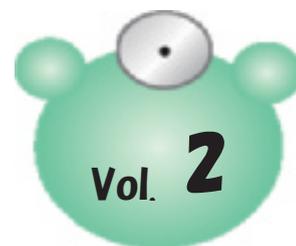
医療法人社団 葵会川崎南部病院

〒210-0822

神奈川県川崎市川崎区田町 2-9-1

TEL 044-277-5511

FAX 044-277-5568



川崎南部病院の リハビリテーションについて

リハビリテーションとは？

「リハビリテーション＝機能回復訓練（関節の曲げ伸ばしやマッサージ、歩行訓練など）」ととらえがちですが、本当はとても広い意味があります。「リハビリテーション」(Rehabilitation) は、re（再び、戻す）と habilis(適した、ふさわしい)から成り立っています。

つまり、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションなのです。



川崎南部病院のリハビリテーション

当院では、外来や入院でのリハビリテーションを行っております。現在、リハビリテーションのスタッフは理学療法士 20 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 3 名の総勢 26 名となっており、より質の高いリハビリテーションをご提供できるように日々精進しております。

「腰が痛くて歩くのが苦痛だ」「関節が痛んでうまく動かせない」など、体の機能に関するお悩みがあれば、当院の整形外科を受診していただければと思います。



また、当院では心臓リハビリテーションにも力を入れており、より早い社会復帰や在宅生活への支援も行っております。狭心症や心筋梗塞の手術を行った後や、過去にそういった病気を発症されたことがある方は、当院の循環器科へご相談ください。

リハビリの様子



病棟内でのリハビリの様子



心臓リハビリテーションの様子



たまには休憩も・・・

人工透析室の紹介



当院では今年の5月より、入院・外来での透析を開始しております。患者様が安心して透析を受けていただくために、経験豊富なドクターや看護師、その他スタッフが随時対応させていただいております。

人工透析室の設備紹介

自動プライミング・自動返血対応ベッドサイドコントロール
DCS-100NX 13台

HDF(血液透析濾過)対応個人用ベッドサイドコンソール
DBG-03 2台

全てのベッドサイドコンソールに自動血圧計内臓
全ての透析剤に対応したA・B粉末自動溶解装置
20床まで対応可能な透析液供給装置



外来通院・入院までの流れ

①電話・来院相談

お電話、またはご面談にて必要な書類のご案内をさせていただきます。
また、現在病院にご入院中の方は、入院中の病院の相談員へご相談ください。

②入院の仮判定

必要な書類が揃いましたら、その書類を確認させていただき、入院対応が可能かどうか主治医に判断していただきます。

③面談・通院日、入院日の調整

ご家族の方と、担当の相談員で面談をさせて頂き、病棟の見学・当日の持ち物等をご説明させていただきます。その後、通院・入院日の調整を行い、透析がスタートとなります。

看護部からのご挨拶

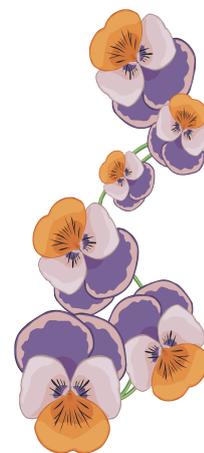
川崎南部病院として平成 25 年 4 月に開院して 8 か月を迎え、ようやく外来患者さんも増え、病棟も次々とオープンし、8 階の緩和ケア病棟を残すまでに至りました。

職員、医師、看護師、コメディカルと増員され人材確保は進んでおります。

「地域の方々のために良質な医療を提供し、親しみやすい病院を目指します。」という病院理念を掲げ予防から介護まで、患者さんを中心に安全、安心でき、良質な高い医療を目指していきたくと存じます

看護につきましては、看護の理念として「1 人 1 人の人間性を尊重し、温かく寄り添った看護を提供する」ことを掲げ毎日取り組んでおります。

看護教育に関しましても、情緒豊かな人間育成をめざし、看護師 1 人 1 人の専門性を高めていけるように指導を行ってまいります。時間は掛かるとは思いますが、長い目でご支援ご協力を賜りたいと存じます。また地域の皆様には、医療についてはご相談くださるよう体制を整備し、準備をしております。お気軽に当院をお尋ねして頂けるよう、おまち申しております。



川崎南部病院のクリスマス

クリスマスツリー を飾り付けました。

4月に川崎南部病院として開院してから初めてのクリスマスです。高さ2m50cmもある、ツリーの飾り付けを職員有志一同で行いました。

中央玄関に飾り付けをしたツリーは大変好評をいただき、小児科にかかれるお子様たちにも大人気でした。苦労して飾り付けをした職員たちも、その光景をみてほほえましく思っていました。



院長サンタクロースが入院患者さんに手作りクリスマスカードをプレゼント。

12月24日クリスマス・イブに当院の院長 森脇 稔 先生がご入院の患者様に職員手作りのクリスマスカードをお届けしました。療養病棟では長期のご入院をされている患者様に少しでも季節を感じていただけたらと、院長はじめ職員も頑張って盛り上げさせていただきました。患者様の笑顔を見ることができ、川崎南部病院の病院理念として「地域の方々のために良質な医療と親しみやすい病院を目指す」という目標に向かって今後も職員一同邁進してまいります。



インフルエンザについて

インフルエンザとは・・・



インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴です。インフルエンザに感染すると、1～5日の潜伏期間の後、**38℃以上の高熱**や**筋肉痛**などの**全身症状**が現れます。健康な人であれば、その症状が3～7日間続いた後、治癒に向かいます。気管支炎や肺炎を併発しやすく、脳炎や心不全になるなど、**重症化**する場合があります。流行時期は、日本では例年12月～3月頃です。

インフルエンザの予防と対策

①流行前のワクチン接種



感染後に発病する可能性を低減させる効果と、インフルエンザにかかった場合の**重症化防止に有効**と報告されています。

②エチケット



インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみから出る水滴です。普段から、咳エチケット（**[1]咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと**、**[2]咳やくしゃみが出る時はできるだけマスクをすること**、**[3]手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと等**）を守ることを心がけてください。

感染対策ではマスクは重要ですが、**感染者がマスクをする方が、感染を抑える効果は高い**と言われています。

③外出後のうがい、手洗い



インフルエンザに限らず、感染症対策の基本です。インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒でも効果が高いため、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

④適度な湿度保持(湿度：50～60%)

⑤十分な休養とバランスの取れた食生活

⑥人混みや繁華街などの外出を避ける



正しいうがいの方法

→うがいは1含み(約20mL)で3回行ってください。



- ① 口内の食物のカスを除くため、口に含んで少し強くうがいする
- ② 上を向いて、のどの奥までうがい液が届くように、15秒程度うがいする
- ③ ②と同様に、もう一度15秒程度うがいする

編集後記

今年の4月に川崎南部病院として生まれ変わり、早くも一年が経とうとしています。

これからも地域の方々に、より身近に感じていただける病院となれるよう、“広報誌”という形で広報委員メンバーも努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

今回の広報誌で書かせていただいた、これから流行り始めるインフルエンザの予防をみて思い出すのが、焼いたネギをガーゼでくるんで首に巻く。と言う有名な民間療法。子供の頃、祖母にやられて嫌だった記憶がありますが、ネギの匂い成分には消炎や殺菌効果と、神経を落ち着かせて睡眠へと誘導する働きがあるなど、風邪予防としてはとてもいい民間療法のようなのです。

皆様も風邪には気をつけて、良い冬をお過ごしください。

編集：相談員 及川



☆広報委員メンバー☆

